



神奈川県環境学習リーダー会

会 報

No. 56

2007年
4月 5月

役員会報告	1	特定非営利活動法人設立認証 の申請 完了	7	グリーン部会	10
新代表挨拶	2	定例的に会員相互の意見交換 会・懇談会開催	8	会員の広場	
平成 18 年度 神奈川県環境学 習リーダー会総会報告	3	本年もエコ BOX 相談員をお願 い	8	エコ BOX 相談員を体験して	10
特定非営利活動法人 神奈川県 環境学習リーダー会 設立 総会	5	部会報告		リレー登場	
役員退任の方々のメッセージ	5	エネルギー部会	8	バイオエタノールのこと ..	11
課題検討委員会委員の募集 ...	6	ケナフ部会	9	韓国出張にて	11
19 年度 子ども環境体験教室 6 年目の開催	7	大気環境部会	9	掲示板	12
		水環境部会	10	編集後記	12

役員会報告 (H18 事務局長 大森 勝) (H19 事務局長 川邊 敏雄)

4 月役員会(4 月 10 日)

1. 審議事項

新役員候補

安丸代表より提案があったが、まだ未調整の部分があり、代表が調整する。

NPO 関連

・総会までに運営・人的強化・組織活性化 等に関し、検討の進め方をはっきりさせる。

・今後の検討事項として会計システム、各部会の実態把握等がある。

・上記を条件に、NPO 法人化を総会に提案することを賛成多数で可決。

よこはま水と緑の日

4 月 29 日横浜技調にて実施されるが、昨年アジェンダの日で使用したパネル(地球をまもる君)を展示する。担当：吉田、井上

横浜市協働事業提案

グリーン部会から提案した。(初年度約 40 万円助成提案)

ホームページの活用

部会などの行事予定を提示し活用を図る。

横浜市共同オフィス

5 平米のブースを確保できた。

子供環境体験教室

各グループの日程が決定した。

親子で楽しむ環境展

会場レイアウトがほぼ固まった。アジェンダ推進センター予算は 40 万円弱の予定である。

横浜市 150 万植樹行動への参加機会あるごとに募金を行う。募金箱(紙管利

平成 19 年度 役員と分担

代表	吉田 榮一
副代表	猪股 満智子
事務局長	川邊 敏雄
事務局 担当役員	土屋 俊幸
事務局 担当役員	内田 重美
経理担当 役員	山本 和代
事務局 担当役員(経理)	岩下 次郎
広報部 担当役員	鎌田 裕二
地域活動サポート部担当役員	熱海 宗信
事業担当役員	
(エネルギー部会)	安藤 紘史
(ケナフ部会)	荒谷 輝正
(自然環境部会：兼務)	土屋 俊幸
(廃棄物 GO3 部会)	内藤 克利
(大気環境部会：兼務)	猪股 満智子
(水環境部会)	斉藤 昭一
(グリーン部会)	杉山 陽絵
監事	児玉 勇
監事	狩野 光子

平成 19 年度 部会長

エネルギー部会	安藤 紘史
ケナフ部会	荒谷 輝正
自然環境部会	土屋 俊幸
廃棄物 GO3 部会	内藤 克利
大気環境部会	猪股 満智子
水環境部会	斉藤 昭一
グリーン部会	杉山 陽絵

用)をケナフ部会が提供する。
その他
総会の役割分担を決定した。

4月総会準備役員会(4月26日)

1. 審議事項

新役員人事(第6号議案)
事務局陣容が決定された。総会時に差し替える。
18年度決算報告
印刷の間違ひがあり、総会時に差し替える。
NPO法人格取得(第5号議案)
4項目を一括承認されるよう提案するよう決定した。NPO法人格取得に伴う課題に対する対応のたたき台(吉田案)について報告し、了承された。また、今後検討委員会を設置し、これらの課題を検討することになった。

5月役員会(5月15日)

1. 確認事項

- ・5月12日行われた総会にて選出された新しい役員で初めての会合。総会議案の具体化と、今年度中にNPO法人にスムーズに移行できるように準備することが重要。各役員の一一致協力が必要となる。
- ・役員はNPOになれば「理事」となり、どのような責務が発生するか「基本六義務」の解説資料が岩下氏から提出された。

- ・総会の第3号議案「平成19年度事業計画」に示す、基本方針及び事業計画の中から選ばれた課題の具現化により、業務を、よりスムーズに行えるようにすることが重要。

2. 付議事項

- 会員確認
会員名簿とメーリングリストの整合性を図る。事務局担当。
役員定例会の運営
原則、毎月第2木曜日午後1時30分~4時。
代表は必要に応じ、臨時役員会を開催する。今後役員定例会閉会後に会員相互の意見交換会・懇談会を開催する。
NPO申請書類
5月22日申請予定。(吉田代表)
NPO化の課題取り組み
- ・現規約等の見直し。担当を決め、早急に案を作成する。
- ・会員増を図る。会員確保の方法の検討が必要。新規加入者資格認定、教育の要否と講座選択等を定める教育手順の作成が必要。
- ・部会の取り扱い、特に資産、預金管理の実態調査が必要。金銭の取り扱いをどうするか、また組織の位置づけを検討する。
環境展開催について(6月16日10時~18時開催@新都市プラザ)
旧役員(実行委員会)が主体性を持つ。横断幕、幟等作成(予算は県土整備より)を了承した。

新代表の挨拶

代表 吉田 榮一



平成19年5月12日の総会において安丸元一前代表の後任として8代目代表に選任されました吉田榮一です。就任に当たって一言挨拶をさせていただきます。

この総会で選任された本年度の役員は1ページに記載の表の通りです。会員の皆様のご支援を得て、活動してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

K・リーダー会の活動は歴代代表をはじめとする役員の方々、先輩各位、会員の皆様のお陰で年々活発になっております。このような会、しかも会員総数180名にもなる会の代表に選任され、身の引き締まる思いです。微力ではございますが前向きにとらえ、役目を果たせるように努力してまいります。

今回の総会の特筆すべきことはなんといっても画期的な事柄であるNPO法人(特定非営利活動法

人)格取得の案件が承認されたということだと存じます。NPO法人格取得についての検討は平成12年に始まり、歴代代表を中心に幅広く議論されてまいりました。今回は安丸元一前代表の強力なリーダーシップにより、検討が加速され、NPO法人格取得が承認されるに至りました。この決定に従って5月22日に申請書類を県に提出しましたので、8月中には認証される見込みです。

今回の総会には多くの方がご出席くださいました。そしてNPO法人格取得の案件でも多くのご意見をいただきました。そのご意見から、K・リーダー会の活動の原点は会員相互の親睦・情報交換・研鑽を積極的に行なうことおよびその取得した知見を地域の環境学習・環境保全活動に活かす実践・実行力を発揮することの2本柱であると感じました。

神奈川県環境学習リーダー会が特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会になるためにはまだいろいろの課題が残されておりますが、これらは今までK・リーダー会の活動を支えていただきました方々を中心に多くの会員の皆様のご意見をいただきたく、課題検討委員会を設置し、この3か月、またこの一年で一つ一つ解決していきたいと存じます。

来年 K・リーダー会は設立 13 年目を迎えます。人間に例えれば中学 1 年生になりますが、また特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会の次のステップの実質的な一年目ともなります。そこで、この平成 19 年度の一年間は大きなステップアップの助走期間と思い、神奈川県環境科学センター所長はじめ関係の方々のご支援と、K・リーダー会先輩はじめ会員の皆様、これからの若い方々の力を結集し、点・線・面や 3 次元・4 次元的な活動もそれぞれに重要であるとの認識のもと、活動の 2 本柱を強

力に進めるための大切な一年だと存じますので、何卒全面的なご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回役員をご退任されました安丸代表、香川副代表、大森事務局長、斎藤事務局・会計担当役員、狩野事務局担当役員、井上事業担当役員、安部監事、立石監事、NPO 化検討委員会の石山れいし様、高橋尚道様に、在任中に会の発展のために多大なご活躍、ご尽力を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

平成 18 年度 神奈川県環境学習リーダー会総会報告

事務局長 大森 勝（18 年度）川邊 敏雄（19 年度）

平成 19 年度総会は、平成 19 年 5 月 12 日（土）13 時から神奈川県環境科学センターで開催されました。当日は、会員 47 名、環境科学センターの飯田所長、環境学習担当の野崎、田中両氏が来賓として出席されました。

総会は、香川興勝氏の総合司会で執り行われ、安丸代表挨拶に続いて、来賓の飯田所長から 10 年にわたる K・リーダー会の活動へ敬意を表された後、本年度は県が温暖化防止条例作りに取り組み、環境科学センターも新 5 力年計画により、新事業企画・設備のリニューアルでスタートしており、今後も K・リーダー会の役割は大きく、いっそうの活躍を期待するとのご挨拶がありました。

次に議長選出に移り、近藤作司氏が選任されました。資格確認では、大森勝事務局長から、会員総数 179 名、委任状を含めた出席数 108 名（総会開始時の出席者数 40 名）で、本総会は成立すると報告がありました。

また議長は、記録係に荒谷輝正氏、安藤紘史氏、議事録署名人に近藤議長、安部洋子氏、立石定巳氏を指名して議事に入りました。

議事は、総会案内に同封された「平成 19 年度 神奈川県環境学習リーダー会 総会資料(当日配布の一部修正資料を含む)」(以下総会資料と略称)に基づいて進行されました。

なお、以降の説明に関しては本来事務局長や経理担当役員の任務ですが、双方を兼務している大森事務局長の体調不良のため、安丸代表が代わりに説明しました。

第 1 号議案 平成 18 年度事業報告承認の件

安丸代表から総会資料に基づいた報告があり、採決の結果、原案通り承認されました。

第 2 号議案 平成 18 年度決算報告、会計監査承認の

件

安丸代表から総会資料に基づき報告がありました。引き続き立石監事より監査報告があり、会計監査の結果は適正であったとの報告がありました。以下の質問・要望の後、採決の結果、原案通り承認されました。

- ・パンフレットの量，用途は何か 実物を提示。1000 部印刷し、展示会等で配布する。
- ・18 年度総会時指摘し、多少は改善したようだが、未だ事業費に較べて内部留保が多い。もっと体制固めに使うべきではなかったかとの要望があった。

第 3 号議案 平成 19 年度事業計画、第 4 号議案 平成 19 年度予算案

議長より、3 号議案(事業計画)及び 4 号議案(予算)は、相互の関連が深いので一括審議したらどうかとの提案があり了承され、それに基づき議事は進行されました。

3 号議案，4 号議案ともに安丸代表から総会資料に基づき説明がありました。

説明後、19 年度事業計画の質問・提案は以下の通りでした。

- ・提案：会員を増やすプロジェクトを立ち上げてはどうか。
 - ・回答：NPO 化すれば会員資格の制約がなくなるので努力する。
- 19 年度予算案の質問・提案は以下の通りでした。
- ・質問：親子で楽しむ環境展で収入 400 千円を見込んでいるが大丈夫か。
 - ・回答：アジェンダ推進センターの意向で事業全体委託はできないので、今年度も不足となる可能性があるが、全体でカバーする。
 - ・提案：内部留保の比率がまだ高い。特定目的の

積立金にまわす方法、会員を増やすプロジェクトを立ち上げたらどうか。

- ・質問：予算はNPO化までの暫定予算か。
- ・質問：予算案において、一般会計と特別会計を一本化した理由を知りたい。
- ・回答：以上に対し安丸代表より回答があった。

予算はNPO法人の予算編成に則り1年間を通したものであり、内部留保については、18年度に比し収入見込みに厳しさがああり、NPO法人化への不測の経費も考えねばならない。また、提案に対しては貴重な意見として検討するとの回答があった。

質疑応答の後、採決にあたって議長から「活動方針の中にNPO法人格取得が入っていることも配慮して賛否を決めて欲しい」旨のコメントがあり、採決の結果、承認されました。

第5号議案 NPO法人格取得の件

法人格取得に関する経過報告

法人格取得の手続き、取得後の組織案承認の件
設立趣意書案承認の件

定款案承認の件

上記4点について吉田NPO法人格取得検討委員会まとめ役から総会資料に基づく説明及び以下の補足提案が行われました。

部活動への制約等不安の声を聞くが現状を変えない方向で行きたい。会計システムは専門家が入ったので強化する。メリット・デメリットの明確化については、メリットは育てるものの立場で取り組みたい。これらを含めて法人格取得に関連した課題については検討委員会を作り、9月まで、さらには本年度中につめてゆく。

NPO法人格取得に関して、以下のような質問・要望がありました。

- ・質問：NPO化したときの責任の所在について会員に及ぶのが役員が負うのか。
- ・回答：法及び総会決議から逸脱した場合は役員の責任。
- ・質問：監事1,2名とあるが、2名以上にしているか。
- ・回答：申請書類の制約上1,2名としているが、運用で2名を目指す。
- ・要望：規約に、今までのリーダー会の目的である親睦や情報交換が抜けているので、入れるべきだ。
- ・回答：定款の性格上書くことができない。内規等に記載する。
- ・質問：第2条で従たる事務所が茅ヶ崎とあるが何故か。
- ・回答：県内全域に活動を広げるために、県の中央部に出先を置くほうが得策と考える。

・提案：5条3項のその他の事業を具体的に記載した方が、予算確保には有利である。

・回答：定款に詳細事業の記載をしないようにとの県の指導があり、詳細事業については内規等に記載してゆく。

第5号案の採決方法に関していろいろの意見がだされ、議長より現執行部の意見を求められたので、安丸代表より 項についてはNPO法人化に伴い、組織・会名の変更、及び全ての財産を引継ぐこともあり、重大事項の変更に当たるので、2/3の賛成が必要であり、賛否の人数をカウントすべきであるとの動議が出された。

項について採決を諮り、承認された。

項について、本日の提案、要望などを踏まえて定款を補足する内規等を作成することを付帯条件として挙手で採決を行いました。その結果は次の通りでありました。

出席者47名中 賛成42名 反対4名(議長1名)
委任状68名中 賛成者29名 議長一任者34名
(議長は賛成) 反対5名

従って総数115名中 賛成105名となり、3分の2以上の賛成となり、承認されました。

項、 項について一括採決を諮り、それぞれ承認されました。

第6号議案 平成19年度役員選出の件

安丸代表から当初案の役員候補決定後に本人自身の業務状況の変化があったので、多少役員の役職名や兼務を変更したことを報告し、総会資料に基づく説明が行われ、原案通り承認されました。

以上全議案の審議が終了したので、議長解任の挨拶後、香川司会より新旧役員の挨拶を請われた。退任役員を代表して安丸前代表、新役員を代表して吉田代表が就任の挨拶をし、香川司会より閉会宣言があり総会の行事はすべて終了した。



特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 設立総会

事務局長 川邊 敏雄

神奈川県環境学習リーダー会総会に引き続き、特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会設立総会が平成 19 年 5 月 12 日(土)14 時 40 分から神奈川県環境科学センターで開催されました。当日の出席者は 37 名であった。

設立総会は、香川興勝氏の総合司会で執り行われた。

まず、議長選出を議場に諮り、内藤克利氏が選任された。次に、議長の指示により記録係りに荒谷輝正氏と安藤紘史氏を、また議事録署名人に安丸元一氏と高橋尚道氏を委嘱した。

議事は総会案内に同封された「特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会 資料」と当日の追加資料「役員名簿」(以下資料という)に基づいて進行された。

議事

- 第 1 号議案 設立趣旨書案承認の件
- 第 2 号議案 特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会定款案承認の件
- 第 3 号議案 設立当初の入会金及び会費の件
- 第 4 号議案 設立初年度及び翌年度の事業計画

案及び収支予算案承認の件

第 5 号議案 特定非営利活動促進法第 2 条第 2 項第 2 号及び同法第 12 条第 1 項第 3 号に該当することの承認の件

第 6 号議案 役員選任の件

第 1 号議案～第 6 号議案について吉田榮一設立代表者から資料に基づき説明し、原案通り承認された。

なお、主に第 2 号議案と第 4 号議案に関連して次の質問・要望があった。

- ・設立準備金の算出根拠は？ 回答：設立時期を 8 月末として主要項目を比例配分して算出した。
- ・会費収入に間違いはないか？ 回答：これも期間の比率で配分した。
- ・部会の位置づけが見えない。部会活動も経理面で連結する必要がある。 回答：組織の明確化は内規等で行なう。部会活動は経理面で許される範囲で従来との関係を維持したい。

この後、議長解任、役員代表の挨拶があり、司会者が設立総会の終了を宣言した。

役員退任の方々のメッセージ

退任の挨拶

前代表 安丸 元一

皆様のご支援、ご協力をいただきまして、当会平成 19 年度総会は去る 5 月 12 日・予定通り開催し、すべての議案が可決されました。熱心なご討議を、そしてご都合で出席できなかった方々に、ご協力いただき有難うございました。お礼を申し上げます。

この結果、吉田栄一代表のもとに、平成 19 年度がスターといたしました。新代表をはじめ役員の方々には、NPO 法人への移行をはじめ多くの課題を背負っていただき、誠にご苦労様です。この解決に向け会員皆様には、更なるご支援、ご協力が必須と思いますので、よろしく申し上げます。

降って、私は事務局役員を 1 年間、代表を 2 年間

勤めさせていただき、その間・皆様に大変なご心配、ご迷惑、をおかけしました事に対し、お詫びを申し上げます。またそれにも関わらず、ご支援、ご協力いただき、誠に有難うございました。今後は一会員として、皆様とともに、当会の発展に微力ですが、努力いたします。

世の中は、温暖化を始め多くの環境問題を抱えており、神奈川県環境科学センター所長 飯田様から総会のご挨拶をいただきました通り、当会の活動が更に重要視されつつあります。当会の活動・発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念しまして、退任のご挨拶といたします。

役員退任の挨拶

前副代表・地域活動サポート部長 香川 興勝

地域活動サポート部3年、重複して副代表2年役員をさせていただいた。皆様の長年にわたるご協力に感謝します。ありがとうございました。

地域活動サポート部では、県下の各地域に散らばっている会員に、会員間の交流を活発化する機会をつくること イベント情報や助成金情報等を提供して効率のよい環境保護・保全活動に役立てていただくことなどを目的に、地域懇談会（5回/2年）施設見学会（3回/3年）地域交流会（1回

/年）助成金情報（2回/2年）や市民環境活動報告会を実施した。少しずつではあるが行事の目的も会員間に理解されつつあり参加者も増えていきます。

まだまだ“部”の目的に沿うような状態にはなっていませんが、粛々とした継続的な活動が功を奏することとと思います。

19年度からは地域活動サポート部の地方部会立ち上げ構想など、新しく着任した熱海部長にあとを託しました。会員皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

役員退任の挨拶

前事務局長 大森 勝

平成16年以来、事務局畑を3年間務めてまいりました。この間貴重な体験をさせていただきましたことに、深く感謝いたします。今年に入り体調をくずし皆さんにご迷惑をかける結果になりましたことを、深くお詫びいたします。

今までの活動を通じて、K・リーダー会には貴重な人材が豊富であることを実感してまいりました。特に女性は、グループのリーダーの方も多いことから分かるようにすばらしい方たちの宝庫でもあります。

ただ残念なことは、その総合力を十分生かしきれ

ていないことと、男女とも若い方が少なめであるということではないかと思えます。従来は入会の制約がありましたが、新年度にNPO法人になりましたらその制約がなくなりますので、多くの若い方にも入会していただける条件が整います。そうなればベテランと新進気鋭が総合力を発揮して、活発に活動するグループになることは、比較的容易なことと考えます。

そうすることにより、真の意味でK・リーダー会が、かながわの、いな日本の環境面での指導的NPOになれるものと確信しています。

課題検討委員会委員の募集

代表 吉田 榮一

平成19年度の神奈川県環境学習リーダー会総会において、NPO法人格取得の案件が承認されました。この総会と引き続き開催された特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会の設立総会において、会員各位より神奈川県環境学習リーダー会が特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会に移行する際に多くに課題に対するご意見・ご要望が提案されました。これらの課題について検討するための課題検討委員会に参加して下さる委員の方を下記の要領で募集します。

多くの会員の皆様が応募して下さいますようお願い申し上げます。

課題検討委員会委員募集要項

検討内容：特定非営利活動法人格への移行に伴う課題全般

応募資格：特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会に正会員として参加される方

募集人員：10名

任期：平成19年6月～9月末日、または検討課題が残った場合には平成20年3月末日まで

募集締切：平成19年6月19日（火）

委員待遇：交通費実費支給

応募先：代表 吉田 榮一

FAX 045-844-9622

E-mail：ey-yoshida@c3-net.ne.jp

または 事務局長 川邊 敏雄

FAX 0463-88-5147

E-mail：jmc2004@rose.ocn.ne.jp

「19年度 子ども環境体験教室」 6年目の開催！

子ども環境体験教室担当 吉田 榮一

神奈川県環境科学センター主催、神奈川県環境学習リーダー会協力で開催される「子ども環境体験教室」は平成19年度で6年目を迎えました。毎年応募者が多く、大変好評で、リピーターの方がかなりおられます。昨年の教室終了時のアンケートでは子供たちの94%の方が「とても楽しかった」(70%)、または「楽しかった」(24%)と回答しており、環境のことについては「よくわかった」(58%)、「少しわかった」(40%)と答えています。

本年度は環境科学センターの以下のご意向に沿って、また今までの経験を活かして昨年度よりさらに充実させるように各代表講師を中心に関係各位で企画内容の詳細を検討しております。

- 趣旨：体験を通して、環境に対する関心や意識を高めて、子どもの心に残る体験的要素の大きい教室にする
- 対象：小学校の4年から6年生（保護者付き添い歓迎）
- 教室数・定員：5教室、1教室定員は24名（最大28名まで受け入れる）
- 開催場所：神奈川県環境科学センターの実習室、学習室、センター広場等、補助的に会議室も可
- 実施時期・時間：夏休み中、土日可、時間は半日程度とする
- 教室内容：環境への関心の喚起や動機付けを大切にしたい体験的要素の大きい内容で、住居や学年の異なる人間関係のない子供達が団体に興味

お知らせ！

特定非営利活動法人設立認証の申請完了

代表 吉田 榮一

平成19年5月12日開催の神奈川県環境学習リーダー会平成19年度総会およびその後の特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会設立総会において特定非営利活動法人格取得に関する案件が賛成多数ですべて承認されました。この議決により、平成19年5月22日総会、設立総会で承認された設立趣旨書、定款、役員名簿など申請書類一式を整え、

を持って参加できる内容

開催する教室の内容・日時は表の通りです。今回は新しい教室が加わり、期待も大きいと思いますが、さらに充実した教室が開催できますよう講師の方々のご協力をお願いします。

No.	教室名	開催日時	代表講師
1	古紙の紙管で写真立てを作ろう	7月26日(木) 10:00 ~14:30	荒谷輝正
2	節電コンセントを作ろう	7月28日(土) 13:00 ~16:10	北村博子
3	ソーラークッカーを作ろう	7月29日(日) 10:00 ~14:00	原園信夫
4	二酸化炭素について調べてみよう	8月5日(日) 13:30 ~15:45	長村吉洋
5	ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう	8月22日(水) 10:00 ~14:30	小川正敏

問合せ先 神奈川県環境科学センター 情報交流部
環境学習担当 田中 慶次 様
TEL：0463-24-3311、FAX：0463-24-3300
E-mail：kodomo@k-erc.pref.kanagawa.jp

神奈川県県民部県民総務課 NPO 協働推進室に申請し、受理されました。

縦覧期間2か月とその後の県での審査・手続きがあり、特に問題がなければ8月中旬に認証される予定です。

会員の皆様にはいろいろとご指摘、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今後、特定非営利活動法人への移行に伴う課題がいろいろと残されておりますが、一つ一つ課題検討委員会、役員会等において解決していきたいと存じます。積極的なご意見・ご提案をお寄せ下さいませようようお願い申し上げます。

定例的に会員相互の意見交換会・懇談会開催

代表 吉田 榮一

原則、毎月第2木曜日午後4時ごろ(役員会終了後です)から1時間程度、かながわ県民センター(開催会議室は入り口の掲示板でご確認ください)で会員相互の意見交換会・懇談会を開催します。総会等でのご意見に沿って開催することに決めました。

本年もエコBOX相談員をお願い

かながわアジェンダ推進センター理事
安丸 元一

平成18年度のエコBOX相談員として、ご苦労いただきました10名の方々に対し、遅ればせながら、その労をねぎらうと共にお礼申し上げます。またその殆どの方は、過去数年にわたりお勤めいただき有難うございました。

今年は、かながわアジェンダ推進センターが県から本業務を委嘱されてから、2年目ですが、相談員相互の意思疎通等諸般の事情で、大幅に人数を制限しました。その結果、当会会員は以下の6名、他団体から2名で8名の陣容です。少人数で各人の勤務日数が多くなり、更にご苦労と思いますがよろしくお祈りいたします。

会員相互の活動状況・意見交換・情報交換・懇親の場にしたいと存じます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

開催予定日時：

6月14日(木)16:00~約1時間 かながわ県民センター 603号室

7月12日(木)16:00~約1時間 同 601号室

8月9日(木)16:00~約1時間 同 601号室

石丸 博司 氏
岩下 次郎 氏
長村 吉洋 氏
斎藤 美代子氏
内藤 克利 氏
西 寿子 氏

この相談員は、平成13年に神奈川県環境科学センターに休日相談員として、当会会員が勤務したのが始まりで、その後、県の環境情報相談コーディネーターとして、かながわ県民サポートセンター、あるいはかながわエコBOXに勤務してきました。当会会員がこの6年の間、県民への環境相談員として活躍された功績は偉大であり、何者にも変えがたい業績と自負しています。今後も従来と同様に皆様のご活躍をお祈りします。そして、会員皆様の更なるエコBOXへのご愛顧をお願いします。

部会活動

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動予定(19年6月~8月)

定例部会(於:県民サポートセンター)

6月13日(水)16:00~17:50 601号室

7月11日(水)16:00~17:50 601号室

8月8日(水)16:00~17:50 601号室

子ども環境体験教室(於:環境科学センター)

7月28日(土)13:00~16:00

県の学校派遣事業にエントリー

県主催の「19年度 新エネルギー省エネルギー学校派遣事業」に部としてはじめて応募。対象は小学校高学年~高校とした。実施に向けてカリキ

ユラムのブラシアップを行う。

横浜子ども科学館の環境教室

実施日は来年2月9日(土)と決まる。

活動報告(19年4月~5月)

5月度定例部会:

5月8日(火)13:00~15:00

場所:県民サポートセンター 602号室

参加者:藤木、小田、鎌田、児玉、二村、上野、大森、横山、安藤

親子で楽しむ環境展

出展内容打ち合わせ。体験と映像を行いたい。情報交換

・バイオエタノールのLCA

バイオエタノールが持てはやされているが、食料問題以外に、LCAも無視できないほど大きい(特にトウモロコシ)ので、注目してゆく必要がある。

- ・資源エネルギー庁作成の教材検討
中学生向け教材の映像等を試写。
- ・コンビニエンスストアの消費電力

新しいコンビニについて、一年間のモニタリング結果が報告：巷で言われている通り大量の電力を消費している事が確認された。

ケナフ部会

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会員が携さわった 2007年 3月～5月までの活動及び6月～8月迄予定について報告します。

1. ケナフ部会定例会

3/27 畑起こし

今年もケナフを栽培するために堆肥を蒔き、耕運機で畑を耕し、マルチをして種まきの準備をしました。当日は少し寒い日でしたが、久しぶりの畑仕事で気持ちの良い汗をかきました。

4/24 4月ケナフ部会定例会

ケナフの種まきを実施する。約 50 平方メートルに今年もケナフを播きました。今年は予め芽出した苗を畑に植えました。今年は例年に無くこの期間は寒かったせいか発芽が悪く、青皮 3 号、浙江、浙江中熟種しか芽が出ず、アメリカ製 (Eveglade41 Tainung 2) ミャンマー 2000 の種は発芽しませんでした。



堆肥と堆肥を蒔いているところ



耕運機を使つての畑起こし



マルチをして種蒔き準備完了



芽出したケナフの苗



苗の移植風景



苗の移植完了及パスライトをかけたところ

5/25 5月定例会予定

タイケナフ (コンケン、ローゼル) の芽出したものを移植、及び圃場の整理。

6/16 開催の「環境展」の出展準備

2. REWOOD 関係

5/22 ,5/24 「親子で楽しむ環境展」で実施する小物入れ箱の材料準備

3. 今後の予定

6/16 「親子で楽しむ環境展」にケナフ部会でケナフ紙漉き実施

7/26 環境科学センター「子ども環境体験教室」写真立てを作ろう

8/22 環境科学センター「子ども環境体験教室」ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

“気候変動を見守ろう” (新自然系モニタリング)

気候変動と生態系の関係性を毎年追ひ、記録ホームページ化していきたいと思ひます。

自分の住む地域や活動等で出向いた県域で、今年度初見または初耳の指標的生物をご報告願ひます。前号送付以外にも、これは?!と思われる種類も勿論結構です(初見・初聞きの日、凡その住所、氏名)。

カントウタンポポ、ツバメは終了。アユはなかなか難しいそうです。さしあつたつては南方系の蝶、

もう少し経つとセミの羽化 (= 鳴き声) にご注目。

活動予定

6月7日(木)夕～8日(金)夕の24時間

大気 (NO₂) 一斉測定

6月17日(日)13:30～16:00

KERC で分析 (当会の測定は旧天谷式ではありません。遮光型フィルター付き捕集管とデジタルで分析値を読むエコアナライザー方式)。同時に比較測定してみるのもいいですね。

7月14日(土)13～16時 JR 洋光台駅前

横浜子ども科学館主催自然環境教室講座

「大気汚染・地球温暖化をしらべよう」実施

7月 VOC/PRTR プロジェクト開催予定

9月15日(土)部会開催予定

活動報告

4月7日(土)13:30 鎌倉駅西口改札集合

大気指標生物ウメノキゴケ類観察後

14:30~ NPOセンター鎌倉で部会開催

出席;伊藤、井上、近藤、依田、猪股

4月20日(金)10~16時 県農業技術センター見

学・情報収集に参加;立石

5月15日(火)13:30~16:30 独立行政法人 環境再生保全機構主催「環境改善・調査研究発表会」に参加;草野、安丸

5月26日(土)13:00~16:30 KERC 学習会、部会、NO₂測定準備

水環境部会

水環境部会 浦井 奈美恵

4月、5月の活動について報告いたします。今年最初の活動は「4月21日 AM9時 JR 鴨宮駅海岸側集合」で始まりました。安丸代表、近藤前代表、以下、古谷、田村、浦井、斉藤の6名の参加です。快晴のもと3台の車に分乗して酒匂川河口、湘南大橋の下、最初のポイントに着きました。

水温19.5 モクズガニ、アメリカザリガニ、マルタ、ハゼ、ヌマエビ、等を採集しました。しかしその河口に流れ込む用水路の出口では、ユスリカ、シマイシビル、ヒラタドロムシ等「大変汚れた水に生息する」代表という生物も多く見つけられました。続いて第2ポイントに向かいました。小田原大橋の下、野球場のグラウンドの下でした。水温19.0 採

集したものは、ヌマエビ、オイカワ、ウナギ、カワニナ等でした。調査対象の外来種、アメリカフロリダミズヨコエビ、コモチカワツボ等は見つけられませんでした。

いよいよこれからが本格的な川の季節、水のなかの生物たちも成長して様々な姿を私達に示してくれる楽しい時がきます。周辺の風景も緑の色が深くなり、時として、その大自然の中に吸い込まれるようなドラマチックな味わいの中での私達の水環境活動です。これからも多くの皆様の参加をお待ちしております。「川、川、川」本当に素晴らしい世界です。

5月20日は第2回の調査です。JR 鴨宮駅 AM9時(海岸側)集合。この結果は次回の報告にさせていただきます。

グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

<活動報告>

4月12日 ミーティング(平塚市民活動センター)

横浜市環境まちづくり協働事業提案の報告

今年度の活動についての企画・検討

5月28日 ミーティング(平塚市民活動センター)

親子で楽しむ環境展についての企画・検討

横浜市、神奈川県消費生活へのグリーンコンシューマー活動普及に関して情報交換

<活動予定>

6月16日 親子で楽しむ環境展出展

次回ミーティング

日時:6月28日(木)13:30~15:30

場所:平塚市民活動センター

新メンバーを募集しています。「環境のことを考えた買い物」、「グリーンコンシューマー」、「グリーン購入」に興味のある方、是非、一度ミーティングへお越し下さい。

会員の広場

エコBOX 相談員を体験して

香川 興勝(小田原市)

多くの方々のお世話になりながら、平成16年夏から本年3月末までの2年半、エコBOX相談員を無事務めることができました。関係者の皆様に感謝します。本誌編集長から要請で、印象に残ったこと

を2,3書いてみます。

平成16年の夏、当時の環境学習リーダー会代表近藤作司さんに誘われてエコBOXのコーディネーター(当時はこう呼んでいた、相談員よりは今風だと思いませんか?)になった。様々な分野の出身の個性豊かな人達が協力しながら勤めており、これは仕事内容・人材ともに面白いところにきたという好印象を持ったことを覚えています。

平成18年度に、相談業務をこなしながら

過去の相談内容の分類・件数・客先のまとめ
県下 39 市町村行政の市民活動応援助成金募集情
報の収集

ボランティアを受け入れてくれる環境市民団体の
調査

を 5 名の相談員でチームを組んでおこないました。

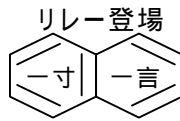
この活動は発足間もないエコ BOX を県内の行政
機関や環境市民団体に知ってもらう良い機会にもな
るとともに、日頃交流の少ない相談員間の相互理解
に役立ち、その後の活動に大変有効であったと思っ
ています。

また、自宅マンション 3 階の台所換気扇外側に住
み着いた鳩の退去方法は？ というユニークな相談

に、県立博物館の鳥類学芸員に相談して音楽による
退去法を示したことがありました。

過ぎ去った 2 年半の相談業務を通して県内外の多
くの人達と知り合うことが出来ました。この人脈を
“宝”にして、今後の環境保護・保全活動をしてい
ければと考えています。

地球温暖化をはじめ、環境問題がますます多様化
するとともに、その対策が急がれています。エコ
BOX および相談員の方々のご活躍を期待していま
す。



バイオエタノールのこと

上野 和雄（横浜市）

わが国でも首都圏のガソリンスタンドで「バイオ
ガソリン」の試験販売が始まった。

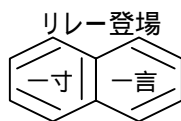
ご存知のようにバイオガソリンはサトウキビや
トウモロコシ、コメその他のグルコース系物質から
作られるバイオエタノールをガソリンに混合したも
のであるが、環境にやさしい新エネルギーとして期
待も大きい。最近、石油価格の高騰もあって、バイ
オエタノール（バイオ燃料）にかかわるバブル現象
が世界規模で生じている。例えば、バイオ燃料の精
製関連技術を有するベンチャー企業への投資、トウ
モロコシやそれを飼料とする畜産物の価格高騰。さら
にトウモロコシ畑を作るための森林伐採の激化な
どの副作用である。

サトウキビなどをバイオ燃料にすれば食料需要
と競合することは明らかである。現にブラジルや米
国では大豆やオレンジ、グレープフルーツなどを栽
培していた農家が相次いでサトウキビやトウモロコ
シの栽培に切り替えるようになり、そのためジュー
スや食用油、ビールなどの原材料価格の高騰を招い
ている。

地球温暖化防止は是非実現させたいが、バイオエ
タノール一つをとってみても技術と経済性を両立さ
せ、各業界の利害を調和させることは容易でない。
常にジレンマと共存している環境問題。バイオエタ
ノールも例外ではない。当分試行錯誤の時代は続く
だろうが、

食糧生産量が減少し、食料の価格が高騰し、貧し
い人はますます飢える。目先の「ガソリン価格高騰」
をバイオ燃料で解決しようと砂漠化や生態系破壊、
森林消失、貧困層の飢えといった不幸な構図になら
ないように、より広い視野と未来への洞察力による
賢明な代替エネルギーの選択を期待したいものであ
る。

今回は福田采一さんをお願いしました。



「韓国出張」にて

松本 賢（厚木市）

かつては近くて遠い国とよばれ最近の韓流ブー

ムでも「ヨン様」と無縁に私にとっては依然として
隣国韓国は遠い国でした。昨秋以降、仕事の関係で
月 1,2 回のペースで出張するようになり、町並みに
を歩き現地の方と接するにつれ次第にいままで抱い
ていた韓国の方のイメージがすっかり代わりました。
日本語を熱心に学び話す方や親切に道を教えてくれ
る方、時には仕事に熱くなりすぎ怒り出す方など。

とても親しみやすい印象です。

さて韓国環境対策についてですがまず出張でホテルに泊まって気がつくのは「使い捨て歯ブラシ」がない。私が安いホテルばかり泊まっているせいかもしれませんが、私がおかげで「歯ブラシ」は常に携帯するようになりました。また韓国料理屋では「割り箸」ではなく金属の箸と食器(ご飯茶碗)がでできます。これも安い食堂に行っているからかもしれませんが使い捨てをしない文化があるようです。最もファーストフード店は残念ながら日本同様紙容器をふんだんに使っています。

ソウルやプサンなど都市部のごみ分別もそれなりに行われています。次に水と空気ですが水は水道水は飲まずミネラルウォーターを買ったり、企業は給水タンクを用意しています。水道水を飲む機会はありません。空気はというと車の多いソウルの渋滞は激しくきれいとは言いがたい状況です。何せソウル周辺には韓国の1/4の人口(約1200万)が集中しているですからたまりませんね。でも郊外

にできればそれほどでもありません。ただここ数年、韓国でも黄砂の影響を受ける日が増え、その量も増えているそうです。中国に近い韓国は日本より深刻に黄砂の問題に悩まされているとのこと。最近、発生するようになった日本の光化学スモッグも中国発生説の報道もあり、公害のグローバル化も進んでいるようで他人事ではありませんね。韓国の工場からもくもくと煙が出ているような光景はみられないことから対策は進んでいるのではないのでしょうか？私の訪問先もきれいなビルや工場が多いです。高度経済成長も一段落し、何が何でもお金というより日本同様、格差問題や離職率、加熱しすぎた教育など課題も多いようですが環境についても少しずつ改善されているとのこと。

ほんの一部の紹介ですのでこれが韓国とは思わず是非、訪ねてみてください。

今回は14期の鈴木和美さんをお願いします。

掲示板

会費納入のお願い

当会の活動は、会員皆様の会費により支えられています。19年度の会費をまだお支払いでない方は、同封しました振込用紙でお早めにお振込み下さいますようお願いいたします。

郵便振替番号 : 00230-4-30769

口座名 : 神奈川県環境学習リーダー会

広報部からのお知らせ

来る6月16日(土)10:00~18:00に恒例の「親子で楽しむ環境展」が開催されます。今回は開催場所を横浜駅東口そごう前の新都市プラザへ



変更しました。出展に係わらない会員の方も見学されてはいかがでしょうか？

会報記事取材、編集、発行作業へのお手伝いをお願いしております。詳細は広報部まで。

会報の中の挿絵は、米山有美さんによるイラストです。

編集後記

木々の緑がまぶしいさわやかな季節がやってきました。この1ヶ月で、若葉も大きくなり、周りの木々が一気に大きくなったように感じます。草花は、次々と花を咲かせ、虫たちも活発に活動しています。市場では、春野菜が終わり、早くも夏野菜が登場し始めました。日々の暮らしの中でこのような季節の移ろいを感じると豊かな感性を、これからも忘れず大切にしていきたいです。

広報部 杉山 陽絵

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 吉田 榮一

編集人：広報部長 鎌田 裕二

TEL/FAX 046-272-7021

発行日：2007年6月10日

ホームページ：

http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/